

■ 病院概要

- 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 菊池 正緒
- 病院長名 吉川 明
- 標榜診療科目
 内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、心療内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科、病理診断科
- 使用許可病床数

| | 使用許可病床数 | 一日平均入院患者数 |
|----|---------|-----------|
| 一般 | 531床 | 472人 |
- 一日平均外来患者数 1,657人
- 年間手術件数 5,806件
- 病院併設施設 健診センター・看護専門学校・訪問看護ステーション
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況



日本内科学会、日本外科学会、日本循環器学会、日本泌尿器科学会、日本産婦人科学会、日本眼科学会、日本麻酔科学会、日本脳神経外科学会、日本血液学会、日本糖尿病学会、日本消化器病学会他多数

医学生の皆様へ



長岡中央総合病院からのメッセージ

当院の研修プログラムの特徴（救急）

長岡中央の『救急研修』は総合診療科2ヶ月間と研修2年間を通して行う月3回程度の夜間・休日の日当直を合わせて3ヶ月の形式を採っています。救急車対応は勿論、walk-inを含めた幅広い初期診療を身に付けることができます。

「胸が痛い」と患者さんが受診しました。どんな病気を考えますか？胸痛をきたす疾患は多数あり、それらの疾患を鑑別するためには、どんなことに注意をして問診し、どのような診察、検査と進めればよいでしょうか？

どんな病気が疑わなければ診断できません。頭に浮かばない疾患は、それを診断する診察も検査もできないからです。そして、診断できなければ治療にも結び付かない。当院の総合診療科ではその『考え方』を学ぶことができます。実際に自分が診察して、症状からどのように考えて、どのように診断をつければよいのかを上級医と一緒に悩み、考えてもらいます。研修1年目からその『考え方』を身につけられることは、その先どの科に進んだとしても必ず役に立ちます。ぜひ、自分で診断をつけて患者さんが良くなって帰る喜びを知ってください。

指導医 富所 隆

研修医症例検討会について

週1回夕方から“研修医による研修医中心の症例検討会”（1回2症例）を行っています。研修医が経験した救急外来、総合診療外来、入院患者の症例の中から、勉強になった症例、診断に難渋した症例などを出し合い、研修医全員で共有することを目的としています。堅苦しい雰囲気ではなく、お菓子片手に上級医・指導医と討論し、意見を交換し合っています。ここで得たものは実際の診療、治療の現場で役立っています。研修医は皆同じように悩み、疑問を抱きながら診療・治療にあたっているのです。経験や知識を共有することでより成長していけるのではと思います。

（2年目研修医より）



Access



- JR長岡駅下車バスで約10分
- 北陸自動車道長岡ICから約15分

照会先
 総務課 和田・小林
 TEL 0258-35-3700 (代表) FAX 0258-33-9596
 E-mail kenshu@nagachu.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法
 上記電話番号およびメールアドレスから、当院の研修管理委員会事務局までお問合せください。
 【宿泊可（個人負担2,000円）】

研修概要

研修プログラムの目的と特徴（平成30年度研修医）

■ 目的

内科系・外科系などを問わず、診療における基本的能力を身につけ、プライマリ・ケアを行えるようになることを目標とする。

【研修時間割】

◆1年目

| 期間 | 8ヶ月 | 2ヶ月 | 2ヶ月 | 1ヶ月 | 1ヶ月 |
|-----|-----|-----|---------|-----|---------------|
| 研修科 | 内科 | 外科 | 総合診療/救急 | 小児科 | 神経 (脳外/神内) |

◆2年目

| 期間 | 6週間 | 9ヶ月 |
|-----|------|------|
| 研修科 | 地域医療 | 自由選択 |

※自由選択は以下の診療科から選択可能
 内科系…消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、血液内科、神経内科、小児科、放射線科、精神科（なお、精神科研修は協力病院（新潟大学医学総合病院・田宮病院）で行う）
 外科系…外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、産婦人科、麻酔科
 ※救急医療に関しては指導医のもとで当直実習（副直）にて研修を行う
 ※地域医療は厚生連魚沼病院・厚生連三条総合病院・長岡市内の診療所で行う

■ 特徴

研修の2年間に様々な経験をすることができ、将来いづれの道に進もうと考えているものにとっても有意義なプログラムである。

- ※小児科を必須とする。
 プライマリ・ケアでは、成人のみならず小児も重要な位置を占め、日当直でも多数の小児患者を診察するため、1年目に小児科を必須とする。
- ※救急は、総合診療科2ヶ月と研修2年間を通して行う月3回程度の夜間・休日の日当直を合わせて3ヶ月とする。
 救急車対応はもちろん、walk-inも含めた幅広い初期診療を身に付けることができる。
- ※地域医療は1ヶ月以上。
 地域の診療所、長岡西病院緩和ケア病棟、県内厚生連各病院の中より選択が可能である。基幹病院だけでなく、様々な規模の医療機関で地域に密着した医療を経験できる。緩和ケア病棟では、専門的な緩和医療に触れることができる。
- ※豊富な自由選択期間を有する。
 研修医それぞれの将来やニーズに対応できるよう、自由選択期間を9ヶ月と長く設定し、多数の科から選択可能とした。また、県内厚生連各病院、長岡赤十字病院、立川総合病院、魚沼基幹病院での選択研修も可能である。

■ 協力病院・協力施設

長岡赤十字病院、立川総合病院、厚生連上越総合病院、厚生連糸魚川総合病院、厚生連佐渡総合病院、厚生連柏崎総合医療センター、魚沼基幹病院、田宮病院（精神科）、長岡西病院（緩和ケア）、厚生連魚沼病院（地域医療）、新潟大学医学総合病院（精神科）など

■ 研修医の待遇（平成30年度研修医）

| | |
|-------|---|
| 1年次月額 | 基本給 : 400,000円 当直手当 : 20,000円 臨床研修医特別手当 : 40,000円 時間外研修手当 : 50,000円 月額平均 計 : 510,000円 賞与は月額手当で支給 |
| 2年次月額 | 基本給 : 430,000円 当直手当 : 40,000円 臨床研修医特別手当 : 40,000円 時間外研修手当 : 60,000円 月額平均 計 : 570,000円 賞与は月額手当で支給 |

年額10万円以内の個人研修費があります。学会出張等に利用できます。

■ 勤務体制

勤務時間：月～金 8:30～17:00
 ただし、受け持ち患者によっては、居残り、夜間呼び出しを余儀なくされることがあります。
 日当直：日直 8:30～17:00 当直 17:00～ 8:30
 昼間・夜間の2交代制勤務です。1年次、2年次共、週に一回程

度、副直としてこれにあたります。

■ 研修医当直 回数（月平均） 2.5回/月
 当直時の勤務体制（研修医以外の当直医数） 2人
 （当直研修医数） 2人

外科系・内科系にそれぞれ1名ずつ配置されます。研修医1名につき上級医師1名が指導医として付きます。この他に、輪番日の夜間は夜10時までベテラン医師がシニア当直としてサポートに入ります。

■ 研修医の学習環境

居室 専用の研修医室が有り、個人専用の机があります。研修室内に仮眠用ベッドがあります。

図書室

開室時間：24時間利用可能
 蔵書数：単行本（和書）約3,100冊（洋書）約1,000冊
 雑誌（和雑誌）134タイトル（洋雑誌）74タイトル
 年間購読雑誌タイトル数：和雑誌112タイトル
 洋雑誌48タイトル（EJ含む）

インターネット環境：院内LAN接続により各自PCよりインターネット利用可能

文献検索システム・支援ツール：医中誌Web, UpToDate (Web版)

■ 研修の宿舎の有無など

宿舎 指定の宿舎はありませんが、月額5万円の病院補助があります。紹介や斡旋も可能です。赴任時の引越し料金は病院が負担します。県内外や荷物の多い少ないは問いません。
 食事 朝・昼・夕ともに各自で用意する必要があります。院内コンビニエンスストア（営業時間7:00～20:00）・職員食堂（平日のみ）のほか、お弁当の手配も可能です。